

11月16日(日)



ロータリー財団地域セミナーに参加のためロータリー財団管理委員長のボルガー・クナーク氏が来日し屋形船の歓迎会がありました。

11月17日(月)

パシフィコ横浜にて10時よりロータリー財団地域研修セミナーが開催されました。

ロータリー財団のプログラムの説明がありました。そのなかで気になった内容は

「恒久基金寄付はハイリスクの投資で運用されているので平均すると年3%利益を出している。京都の地区では毎年運用益を1000万円以上DDFに加算されている。



18時30分より、ガバナー同期懇親会の前に全体会議として日本とウクライナのICC事務局の締結式がありました。また、憲章協定ICC日本_ウクライナの個別地区として2232地区と2790地区の協定集結の依頼があった。

本文「平和と国際的な理解を促進するために、認識の向上、相互理解の深化、多様性

の尊重、そして地域社会をつなぐ架け橋となる活動を推進します。

本書は、2025年11月17日、横浜市で開催された全体会議において署名されました。」となっています。諮問委員会に報告後サインをします。

11月18日(火)14時からガバナー会がありました。

水野RI理事よりRIの現況として、

1) ゾーンの見直しが8年に1度ある。2026年度が見直しの年度で34ゾーンある、1ゾーンの人数は約33000人を定数とするので、インドに1ゾーン増やしアメリカで1ゾーン減らす予定です。日本は変わらず1A、2&3ですが1Bにインドネシア、パキスタン、バングラデッシュにネパールが増えるか検討中です。

2) トランプ政権になってからDEIがなくなり、留学生にビザ取得が難しくなりCDC、WHOとの関係も薄くなりいろいろ問題が出ている。

審議事項は「ガバナー会の8条委員会にロータリー文庫委員会を設置すること」で可決されました。



18時からRI会長ご夫妻、TRF管理委員長ご夫妻歓迎晩餐会がありました。

千葉のガバナーと言ったら「東京に近いですね」と日本に対しての知識があるようで、快く写真撮影していただき、温かな性格がにじみ出ていました。

晩餐会のスピーチは「平和」のテーマで積極的平和を推進する内容でした。

11月19日

ロータリー研究会1日目



フランチェスコ・アレツオのご挨拶

この度の研究会の開催を心よりお喜び申し上げます。新クラブを設立し、多様なクラブ形成を促進し、ロータリーの参加者基盤を新たなコミュニティに広げることへの皆様のコミットメントはより強く、より大きなインパクトをもたらす組織作りに不可欠です。

協力を奨励し、従来のアプローチを超えて新しいことに目を向ければ、ポリオ根絶や持続化可能な変化の実現といったロータリーの目標を達成できるはず。革新や新しいアイデアを取り入れることで、ロータリーが今日、そして将来の課題の取り込む準備を整える

ことができます。

この研究会が、ロータリーの誇るべきレガシーを尊重しつつ、ロータリーの本来を形成するためのインスピレーションになることを願っています。

目的と行動をもって結束すれば、よりよい世界を築くことができます。よいことのために手を取りあっていきましょう。

18時30分より UNITE FOR GOOD Yokohama Night



RI会長がイタリア人のためオペラ歌手のコンサートがありました。

11月20日2日目8時50分ロータリーカードの表彰がありました。柏西RCの第1地域1位（2位は勝浦RC）のクラブ表彰と第1地域1位の地区表彰がありました。地区表彰はロータリー財団統括委員会ロータリーポリオ委員長の小椋さんが代表で受け取りました。



12時45分ポリオ活動報告で「八つの心で繋ぐ未来への誓いポリオのない世界」で報告を行いました。

こんにちは。



2790地区の八犬伝プロジェクトのメンバーです。

よろしくお願いいたします。

八つの心で繋ぐ未来への誓い「ポリオのない世界」と題して発表させていただきます。

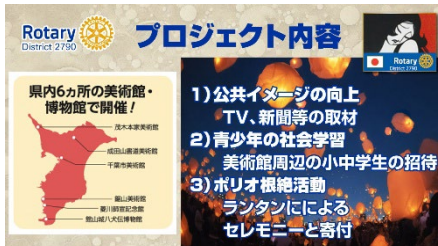
私たち故郷千葉、その千葉に残る「南総里見八犬伝」の物語の「八徳」「仁義礼智忠信孝悌」を通じた美術品を展示することにより

1) ロータリーの公共イメージの向上 2) 青少年の社会教育 3) ポリオ根絶活動



を実施し、一人の努力では小さいかもしれませんが、多くの人が手を取りあえば大きな力になり、社会を変えることができます。

UNIT FOR GOOD「よいことのために手を取りあおう」を実践したものです。



千葉県内6カ所の美術館に八犬伝の関連する美術品を展示し、

1) 公共イメージも向上として、多くのマスコミによる取材と記事となりました。

2) ロータリークラブと教育委員会が協力し小中

学生を社会学習として招待しました

3) ポリオデーセレモニーを里見八犬伝の故郷館山城で実施し、

ランタン60基以上を打ち上げ、ポリオ根絶ポストカードを配布しました。

これらの活動は6月から実施、12月まで継続するものです。

それでは、記録動画をご覧ください。



今回の八犬伝プロジェクトの成果として

1) 小中学生への招待券は18,900枚配布しました。

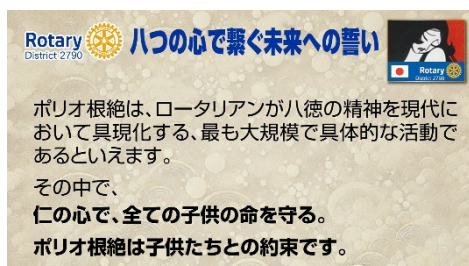
館山城八犬伝博物館の開催期間の入場者数16,339人(通年の122%)です

2) 千葉日報での1面カラー広告、NHKの首都圏

ニュースで放映、新聞各社、BEYFM、JCOMでの新聞記事と放映をされました。

3) IAC年次大会での美術館への参加者人数200人で、卓話は13回実施し約500名の参加がありました

4) 館山城でのポリオセレモニー参加者300人、八犬伝のポストカードは500セットを配布したので50万円以上の寄付が集まりました。



ポリオ根絶は、ロータリアンが八徳の精神を現代において具現化する、最も大規模な具体的な活動であるといえます。

その中で、仁の心、すべての子供たちの命を守る。ポリオ根絶は子供たちとの約束です。END POLIO NOW



またそのあと、フォトコンテストがあり

富里 RC 松永さんが RI 会長賞、千葉西 RC 藤崎さんが辰野 TRF 管理委員賞、千葉 RC 池田さんが四宮 RI 理事エレクト賞を受賞しました。

以上